

認知症に関する活動計画

茨城県作業療法士会では、以下の活動計画を中心に進めています。

- ①認知症に対する理解を深める活動
- ②他団体・行政等の認知症関連事業への支援・協力

認知症に対する理解を深める活動

茨城県作業療法士会では、平成29年度に茨城県から委託された「平成29年度認知力アッププログラム作成事業」で認知症AR/VRを制作しました。認知症に対する理解がより深まるよう、予防に取り組む前の導入ツールとして制作しております。当士会では、これを利用して県内を中心に要請に応じて「認知症AR/VR体験会」を開催しております。

認知症AR/VR体験会の内容

認知症AR/VR体験会では、協会制作DVD「二本の傘」の上映とセットにして、認知症に対する作業療法士の観点や関わり方をご紹介しながら、機能障害に対する観点をもとに制作した認知症AR/VRを体験していただいています。



昨年度開催実績

2022年度は研修会やイベント等2ヶ所からご依頼をいただき、そちらに出向いて、ケアマネや介護職、一般の方を対象に、認知症AR/VR体験会を開催しております。

<2022年度開催場所>
取手市桜が丘地区ほほえみセミナー、那珂市地域包括支援センター研修会



他団体・行政等の認知症関連事業への支援・協力

茨城県若年性認知症支援ネットワーク会議へ委員として協力、また、事例検討会にも参加協力を行っている。

認知症の人と家族の会 茨城県支部へは賛助会員として支援を行っている。

COVID-19の影響・対応などについて

茨城県作業療法士会主催の活動は実施できておりません。上記のように、依頼をいただいた場合には、感染対策を行った上で、実施しております。認知症の人と家族の会 茨城県支部への支援も、以前は講演やフォーラムへ協力しておりましたが、現在は賛助会員としての協力に留まっております。